



笑顔いっぱい  
がんばりいっぱい

豊橋市立福岡小学校  
豊橋市橋良町字平野 1-1  
TEL0532-45-2328  
FAX0532-44-1379  
E-mail  
fukuoka-e@toyohashi.ed.jp  
学校新聞 49号  
令和6年6月14日発行



輝く瞳に今日は何が  
映るのかな。  
笑顔いっぱい  
がんばりいっばいの  
すてきな一日が  
はじまる朝です。

ふるさと福岡を愛し、福岡に誇りを  
もつて子どもを育てます

校長 山田 浩一

◆地域の温かさ、優しくにふれる子どもたち

ある日の登校時、とある通学班が揃って、わたしが待っている校門まで小走りで近づいてくるのが見えました。聞くと、一人の子が途中で鼻血を出してしまったとのことでした。きっと子どもたちは、その子のために何とかして早く学校に到着しようと急いでいたのだと思いました。このような心温まる朝の風景が大好きです。そして、毎朝、子どもたちの柔らかな表情と笑顔でのあいさつにも感心しています。

福岡の子どもたちのこの姿はどこから生まれるのでしょうか。わたしは、子どもたちのことを大切に思い、温かく優しい愛情を注いでくれている保護者や地域の方のおかげであることを確信します。前述の鼻血を出した子についての補足ですが、別の班に付き添っていたお母さんが「これ使って」と、ティッシュペーパーを差し出してくれました。また、別の日には道で名前の書いてあるハンカチを拾った地域の方が、ハンカチを洗濯して学校に届けてくださいました。担任から子どもにハンカチを返すとき、このエピソードを伝えたことは言うまでもありません。

こうした例を出すまでもなく、子ども

もたちは、ふだんから地域の方の温かさや優しくにふれながら生活しているのです。

◆「大好き福岡！笑顔いっぱい、がんばりいっぱい」への思い

本年度右記のスローガンを掲げました。ふだんから家族や地域の愛情を注いでもらっている子どもたちに、友達や職員も含めた学校のこと、ふるさと福岡という地域のことを今よりももっと大好きになつてもらいたいという願いをかけました。ただ、「大好き」という感情は、何も手だてを講じなければ湧くことはないと考えます。創立百五十周年にあたる本年度は、ふるさと福岡のことを知り、深く学ぶことができるよう郷土学習（地域学習）に力を入れ、子どもたちに真の郷土愛を育みたいと考えています。目まぐるしく変わっていくこの時代にあつても、変わってはいけないもの、そのひとつが学校や地域への愛情と誇りです。わたしたち教職員は、子どもたちに地域への愛情と誇りの気持ちを育て、子どもたちの笑顔をいっぱい引き出し、子どもたちのがんばりをいっぱい引き出せるよう、努めてまいります。

私事で恐縮ですが、平成十四年度に本校で担任を終えて以来、二十二年ぶりに再び勤務することができました。わたしの愛してやまない大好きな福岡。今後とも皆様のご理解とご協力をいただきながら子どもたちを育ててまいります。何卒よろしくお願いたします。